

対象	小・中学校	教科・領域 等	総合的な学習の時間
福井	2017 年	2 月	26 日付
記事の見出し	勝山左義長まつり開幕		

上長洲区の櫓の上でにぎやかに左義長ばやしを練り広げる打ち手たち。25日、勝山市栄町1丁目(杉本世大撮影)



「浮いた、浮いた、浮いた」とはやし立て、踊るように「浮き太鼓」。勝山左義長まつりが25日、勝山市街地で開幕し、12の櫓で競うように左義長ばやしを鳴り響き、夜遅くまでにぎわった。(宮本幸恵「一面」本誌)

# 太鼓 浮き太鼓

## 勝山左義長まつり開幕

SAMPLE

### 12の櫓 競演

時折、真夏の空が、午後1時に上長洲区で大洋平さん(32)が、長いばちを使って一番太鼓を打ち鳴らし、まつりの幕を切った。「蝶よ花よのネンネー」のおはやしの中、代わる代わる赤い長じゅばん姿の男女の打ち手がおどけたような豊かな表情で太鼓をにぎやかにたたいた。これを合図に他の区でも一斉におはやしが始まった。街中が、一気に華やかな活気に包まれた。

大役を果たした大六さん(32)は「多くの人が見ている中、打つのは盛んに拍手を送り、リズムに響かせるのがいい。各区では雪だるまを路

家族で櫓に上る打ち手も。太鼓を打ちながら赤ちゃんに満面の笑み。勝山市栄町1丁目



通りには世相を風刺した絵あんどんもずらり。勝山市本町2丁目

上に飾ったり、櫓での左懸向を凝らしたアイデア。義長ばやしに参加がでて観客を楽しませていきた。さるところもあるなど、